



畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会
2016年 3月24日
第15号



ごあいさつ

畿央大学後援会 会長

清水 隆平

昨年までは気がつかなかった場所に、新たな春の息吹や小さな花を感じ生命の素晴らしさを実感する季節になりました。後援会の皆様におかれましては益々ご清祥の事と存じます。

先日、人間環境デザイン学科の卒業研究・作品展を拝見する機会を得て、家族と共に会場へ向かいました。造形面での可能性を追うもの、空間構成にコミットしたものの、生み出したアイデアを卓越した造形力、発表力等を使い、個性的な作品で有るとともに作者の主張したい内容を表現し、全ての作品が見るものを唸らせる内容で感動を受けました。作品から受けた感動と共に、会場でお聞きした学生達からの熱い説明は更に素敵なものでした。

先輩が立ち上げたプロジェクトを引き継ぎ、それを見事なまでに自分達の形や色に昇華させ次の後輩へとバトンを渡す作品、3回生、2回生に徹夜でサポートしてもらい、時間と戦いながらも素晴らしい作品に仕上げたものの、対立しながらも最後には一団となりまとめあげた共同作品等です。学生達は見事なまでに畿央大学の歴史を刻んでいると感じました。また、子供さんを同伴された卒業生も来られ、作品を中心に先生、在学生と共に話題が途切れず楽しまれていました。

草花や木が何世代も前からの生命の継承のバトンを引き継いでいるかのように、次の世代そして未来へと畿央大学は進んでいます。

私たち後援会も未来へと連綿と続く後援会史の中で、学生生活が実り多いものとなるようその使命を果たすべく最善を尽くします。

後援会の皆様へ

学校法人冬木学園 名誉理事長
畿央大学 学 長

冬木 智子



ここ大和盆地におきましては珍しくひとひらの雪を見ることなく、早や春の兆しが強まって参りました。

後援会の皆様方には、本学に多大なご支援を賜っておりますこと、改めて厚く御礼申し上げます。

人生における輝かしい行事であります卒業式を迎えた卒業生達が頼もしく成長し巣立っていきました。卒業生の保護者の皆様方におかれましては、今日迄夢の実現に向け共に努力し、稔りの日を迎えられた喜びは如何ばかりかと拝察申し上げます。卒業証書を手にできた卒業生の人生は、保護者の方々の真摯なるご努力の支えがあつての結果でございます。

そして、新入生の保護者の皆様におかれましても、ご子弟の将来の活躍を楽しみになさっておられることと存じます。学生一人一人が夢と希望に向けて精一杯頑張っていけます様、支援と指導を致して参ります。

畿央大学は創立以来13年の歴史を重ねて参りまして、卒業生は今や3600余名に達しております。大学付属幼稚園、関西中央高等学校とともに学校法人冬木学園は創立以来70年間活発な前進を遂げて参りました。建学の精神「徳をのばす・知をみがく・美をつくる」の実践に向け一致協力して努力して参りたく決意を新たに致しております。

保護者の皆様方におかれましては、本学園の教育にご理解を頂きまして、ご協力頂けますことを切にお願い申し上げます。後援会だよりの御挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ.....	P 1	健康科学部 人間環境デザイン学科.....	P 6
健康科学部 理学療法学科.....	P 3	教育学部 現代教育学科.....	P 7
看護医療学科.....	P 4	授業日カレンダー.....	P 8
健康栄養学科.....	P 5		

今年は、
7月2日(土)です!!

平成28年度保護者懇談会・後援会総会を7月2日(土)午後に冬木記念ホールにて開催いたします。

詳細は、5月末にご案内いたします。ご予約いただき是非ご参加ください。



学ぶ姿勢の変化の見守りを

学校法人冬木学園 理事長
畿央大学 副学長

冬木 正彦

後援会の皆様には、畿央大学の教育活動に対し日頃から温かいご理解とご協力をいただき有難うございます。

畿央大学では、「徳をのばす」、「知をみがく」、「美をつくる」に集約される教育の理念に則り、豊かな教養を備え健康と教育の分野において高度な専門知識と技術を有し日本および国際社会に貢献できる人材の育成を目的とする教育を行っています。

大学における教育で重要なことは、学生の一人一人の学ぶ姿勢を受動的から能動的に転換することであると考えています。学生の立場からは、与えられた範囲の知識を教えられることに従って理解するのではなく、学習すべき範囲を自ら考え自ら理解するという姿勢で学習に臨むことです。学ぶ姿勢が能動的になることにより、変化する社会の中で学びながら問題を解決し活躍し続けるためのジェネリックスキル（汎用

的技能）を習得できます。

教育関係の話題で最近よく取り上げられる「アクティブラーニング」は、能動的学習を促進するための色々な授業の進め方のことです。畿央大学では以前からグループ学習や演習・実習などではアクティブラーニングの授業形態をとっていましたが、さらに促進を図っています。学ぶ姿勢の転換は、学生にとっては簡単ではありません。教員も、意識して学生の自主性を評価し導く工夫が必要です。

資格試験のための学習も、専門知識体系の系統的な学びの中に位置づける自主的な学びの姿勢があれば、専門分野で活躍できる高度な知識への広がりも期待できます。

保護者の皆様方には、ご子息・ご息女の学び方の姿勢の変化を見守っていただき、教職員が一体となって進めている畿央大学の教育へのご理解とご支援を引き続きお願いする次第です。



豊かな実りを期待して

健康科学部長
健康科学研究科長

金子 章道

畿央大学後援会会員の皆様からは、本学の教育に対し日頃より深いご理解と多大なご支援をいただいていることに深く御礼申し上げます。

今年も卒業式のシーズンを迎えました。卒業生一人一人の顔を見ると、まだあどけなさの残る新入生の時が思い出されます。この4年間、学生たちは大学で学問を修め、病院実習や会社でのインターンシップ、アルバイト、ボランティア活動などを通じて社会とのつながりを体験し、課外活動を通して友人との親しい人間関係を構築し、いま社会人として巣立ちを迎えております。

人間を樹木に例えるならば、こうした4年間の体験は地面に深く根を張って肥料を吸収し、内部にこれからの成長に備えた養分を蓄える時期でありましょう。こうした体内に蓄積した養分を活用して、樹は強く枝を伸ばし、葉を茂らせ、豊かな実実を实らせます。卒業生諸君は大学生の4年間に蓄えた実力を活用して人生の豊かな実りを達成してほしいと思います。

保護者の皆様は身近にわが子の成長振りをご覧になっているでしょうが、われわれ大学の教員も卒業していく一人一人の面影と歩みが深く心に残っております。そして卒業生全員が立派な社会人になれることを切に願っております。

「育てること」と「育つこと」

教育学部長

前平 泰志



後援会の皆様には、本学の教育に多大なご支援とご協力をいただき、感謝申し上げます。年度が改まり、また新しく学園に入ってくる学生諸君を多数迎えることができましたのは、大きな喜びです。

学生たちにとって、本学で過ごす4年間は、人生の中でちょうど子どもから大人になる、きわめて重要な時期です。教育学部は、文字通り学生を「教え」、「育てる」学部であり、どの学生も、一人ひとりが本学で学んだことに誇りをもって、卒業後社会に貢献できる人を教え、育てることを目指しています。この4月に入学した学生たちがこれからの4年間の学園生活のなかで、どのように変わっていくのか、大いに楽しみにしています。

先に教育学部は、教え、育てる学部だといいましたが、実はそこにとどまりません。教育のなかには、もうひとつ、「(自分で) 育つ」ということも含まれています。どんな花や作物でも、水や肥料をやりすぎると、十分に育つことができません。学生自身が<気づき>のときが来るまで、じっと焦らずに待ってやることも、あるときには必要なのではないでしょうか。保護者の方の少し距離のおいた、それでいて温かいまなざしが不可欠なもの、この「(自分で) 育つ」力をつけてもらうことを願うからに他なりません。

メッセージ

健康科学部
理学療法学科
学科長
庄本 康治



保護者の皆様には、日頃より理学療法学科の運営、教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、前回の後援会便りでお伝えしましたが、今年度から15名の教員がチューターになり、前期は3回生、後期は2回生を対象に少人数教育を試験的に実施しました。2回生を対象としたのは、2回生の後期が最も緊張感が低下するという上回生の意見が多かったためです。

チューターによる少人数教育の目標は、専門的知識・技術、モチベーションの向上です。教員1名で5名前後の2回生を2ヶ月間担当し、次の2ヶ月間では違う学生を

5名担当するという方法で、2週間に1回（1時間30分）の頻度で後期テスト開始前まで実施しました。

チューターによる少人数教育の効果はこれから検証していく予定ですが、このような機会を通して、学生さんとの距離が近くなったことは間違いありません。廊下を歩いているとき、担当していた学生さんには気さくに声をかけ、色々な話がしやすくなりました。一方でアルバイトとの時間的調節、意欲低下などの問題も明らかになりました。

まだまだ手探りの状態ですが、学生さん、教員とも話し合い、実施の有無も含めて今後の方向性を決定したいと考えています。

実践的な学びから国家試験へ

4回生は、実習終了後の8月頃から徐々に国家試験受験勉強を開始しますが、本格的な開始は卒業研究が終了する11月上旬になります。国家試験受験勉強に該当する科目は「理学療法総合演習」ですが、11月中旬から模擬試験を開始し、12月中旬から年末までに実施する3回の単位認定試験、年始に実施する3回の単位認定試験、2月上旬から中旬に2回実施する単位認定試験に合格して単位を修得します。

国家試験実施日は、平成28年2月28日（大阪電気通信大学寝屋川キャンパス）で、午前・午後とも2時間40分の試験時間で、合格発表は3月29日の14時です。今回の国家試験は、約10年ぶりに試験範囲が拡大しま

すが、その範囲については今までの講義ですべて網羅出来ています。しかし、問題は難しくなると予想していますので、今まで以上に努力してもらうように危機感を持って対応しています。

一方、3回生は2月15日から3月5日まで評価実習に参加しています。この実習では、学生が少数の患者さんを担当し、どのような患者さんで、どのような問題点があるのかを把握する事（評価）を指導下でトレーニングしていきます。この評価能力を十分鍛えてから、次の4回生の総合臨床実習では実際の治療



評価実習参加中の3回生倉本 仁さん。
右図は筋肉の緊張状態を検査しています。
（西大和リハビリテーション病院にて）

を開始することになります。

また、2回生も2月17日から3月12日までの間に3日間の検査測定実習に参加しています。この実習では今まで学習した検査測定を実際の患者さんに実施させて頂いたり、患者さんの問診を実施したりします。

学生有志が日本理学療法学生協会関西支部大会を開催！

「予防理学療法～幸せと健康を広げませんか～」をテーマに11月29日（日）日本理学療法学生協会畿央大学運営委員会主催の関西支部大会が畿央大学で開催され、中部・近畿・中国地方の大学から約90名の学生が集まりました！！

講演には、二人の先生をお招きしました。京都大学大学院に所属し、理学療法士の企業進出など幅広い分野でご活躍さ



れている福谷直人先生には、まだ理学療法士の参入が少ない産業分野について、マーケティングの方法や難しさについて経験談も交えながら教えていただきました。もう一人の国立長寿医療研究センターに所属し認知症予防のためのプログラムを作成されている土井剛彦先生には、研究者になった経緯や、近年増加して

いる認知症の原因や予防策について教えていただきました。



先生方のお話の中で共通していたのは、「周りの人を大切にすること」でした。「企業と連携し活動範囲を広げたり、多くの対象者に実験を行ったりすることは、周りの協力してくれる人々がいて初めて実現する」ということを教えていただきました。

ディスカッションでは、障がいを予防できる方法や奈良県の小学生の体力低下に対する予防策について具体的に話し合いました。どの班も発想力豊かで活発な意見交換をすることができ、大成功でした。

また講演の他に学生発表も行い、懇親会では、聖徳太子ゲームで参加者全員で盛り上がることができました。

日本理学療法学生協会 畿央大学運営委員広報部
理学療法学科3回生 河村優奈

メッセージ

健康科学部
看護医療学科
学科長

河野 由美

後援会の皆様には、本学の教育にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

看護医療学科では今春はじめて、改正カリキュラム（保健師選択制）で入学した5



期生が卒業を迎えることになりました。近年、看護系の大学が多数新設される中、本学科の真価が問われる状況にあります。評価指標の一つに入口（入試状況）と出口（国家試験合格率）の指標があると思います。

出口の方は、次の記事に譲りますが、入口に関して言えば多くの大学と競合する中、本校は確実に受験者数を伸ばし受験生に選ばれる大学になっています。日本社会の現状を鑑みると、いわゆる2025年問題に備えるためにも看護師には、病気を看るだけでなく生活をしている人間を看る力が求められています。生活者を看るためには他職種との連携・協働が必要不可欠であり、本校が力を入れている「チーム医療」や「離島

へき地医療体験実習」は時代の要請にかなったものとなっています。来年度から「海外インターンシップ実習」も開講し、「認知症ケア」や「終末期ケア」など海外で卓越したケアを学ぶ機会を設定します。

本学科は建学の精神を礎に、ただ単に看護師受験資格を得るための教育ではなく、感性を磨き自ら考え行動し専門職として活躍できる人材を育成すると共に、行事等を通して学生の情操教育にも努めたいと思います。本頁末に紹介している学生自らが企画運営した戴帽式は、学生の成長を実感できるものでした。

学生の人間力を涵養できるように教職員一丸となって精進を重ねたいと存じます。

国家試験への取り組み

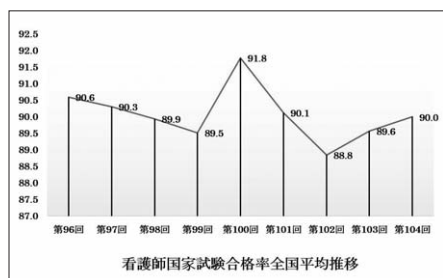
今年度実施された第105回看護師国家試験に84名が受験致しました。今年の看護師国家試験は大手業者の調べによると、出題の方向性が従来と異なり、多くの受験生が戸惑ったとされています。

学生が苦手とする五肢択一・五肢択二問題が昨年の28問から45問へと大幅に増加し、難易度も上がっており、今年の平均正答率は下がることが予想されます。看護師国家試験は、厚生労働省が示す国家試験出題基準に基づき出題されますが、単純な記憶レベルを要求するのではなく、深い思考能力を要求する問題が増加しており、問題集を一通りすませるだけでは合格する力にはなりません。特に今年の出題内容は単純に丸

暗記するだけでは答えられない、応用問題が昨年以上にふえています。

やはり1～3回生で履修する「人体の構造と機能」、「疾病の成り立ちと回復の促進」ほか、専門基礎分野の内容を十分に理解し身につけておくこと、臨地実習での学びを深めておくことが重要となります。

参考までに昨年までの看護師国家試験合格率全国平均をお示しします。看護師国家試験は全員合格して当然と思われがちですが、実際は昨年第104回の合格率全国平均は



90%で、これは100名中10名が不合格になることを示しております。幸い本校では昨年も100%の合格率でしたが、油断はできません。今年の可否発表は3月25日ですが、学生は頑張ってくれましたので吉報を待ちたいと思います。



学生自主企画の戴帽式を終えて

学生の自主企画による第二回戴帽式が卒業を控えた2月21日に行われ、5期生77名が戴帽しました。

昨年、先輩方が行われた第1回戴帽式を見せていただいたのですが、実習や国家試験など、様々な大きな出来事を乗り越えた先輩たちの姿がありました。ナースキャップをかぶり、胸を張って歩く先輩たちの姿を見て、春から臨床に出る覚悟を感じました。それと同時に、大きな刺激と感動をいただき、1年後には自分も同じ場所に立ちたい!と思い、企画しました。

キャンドルサービスでは学科長によってナイチンゲール像に火がともされ、そして、一人一人ナースキャップをかぶせ

ていただきました。戴帽時には「おつかれさま、頑張ってるね。」と学科長に声をかけていただき、様々な思いが込み上げてきました。

入学してからの4年間、本当にたくさんのことがありました。初めて白衣を着た日、何度も練習を重ねた看護技術、なにをするのが患者様に最もよいのか試行錯誤した臨地実習…。嬉しいこと、悲しいこと、辛いこと、たくさんありましたが、先生方や仲間、保護者のみなさまの支えがあったからこそ乗り越えることができたのだと再確認することができました。

今回の式を通して、看護師という患者様の気持ちに寄り添う職業に就くという自覚を新たに持つことができました。この決意や感動、そして、みんなの優しさにたくさん救われ、助け合って過ごした日々を忘れずに看護師の道を歩んでいきたいと思っています。

(第2回戴帽式実行委員 看護医療学科4回生

利田納都美・浅井雅子)



メッセージ

健康科学部
健康栄養学科
学科長

小西 洋太郎

皆様には、本学・本学科の教育、人材育成にご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本学科のこの半年間の大きな取組みは、管理栄養士養成に係る教育内容を含



め、学科のカリキュラムを見直したことです。学生が4年間で食と栄養に関する教育を系統的に受けられるようにするにはどのようなカリキュラムが適切かというコンセプトに基づき、たとえば科目によっては、統合・廃止し、また履修年次を変更するなど、教員が智慧を出し合いました。でき上がった新カリキュラムは2016年度新入生から適用されます。

また現在、コース制（臨床栄養コース、スポーツ栄養コース、食品開発コース）を導入していますが、2016年度から各コースの専門科目が本格的に開講されます。学生は希望するコースを選択でき、より専門性の高い講義、実験・実習を受けることがで

きます。

本学科の管理栄養士国家試験合格率100%（2年連続）は嬉しいことですが、コース制の導入によって「〇〇分野に強い管理栄養士・栄養士」というような人材を育成していきたいと考えています。

最後にご報告があります。本学科で長年にわたり教育・研究にご尽力いただいた、浅野恭代先生、岩城啓子先生、岡崎眞先生、林京子先生、金一玲先生が2015年度末で退職されます。この場をお借りして敬意を表しますとともに厚くお礼申し上げます。

皆様には、今後とも引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国家試験対策と学生の学び

今春、畿央大学健康栄養学科は10回目の卒業生、すなわち10期生を社会に送り出しました。彼らは3月20日に管理栄養士国家試験を受験しましたが、汗と涙にまみれた努力の日々が試験前日まで続きました。結果が明らかになるのはまだしばらく先ですが、必ず素晴らしい成果を出してくれるものと確信しています。

管理栄養士国家試験は大学4年間で学んだ専門科目ほぼすべてが試験範囲です。科目は様々な分野にわたっており、広範囲の知識を問う問題が出題されます。試験時間は合計4時間50分にもおよび、知識



とともに体力、気力も必要とされます。このような厳しい試験に対する準備として、本学では2回生から国家試験対策の授業を開講しています。特に4回生では、専門科目を担当する学科全教員が毎週持ち回りで講義や演習を実施し、1回生から3回生の授業で学んだ専門分野の内容を復習しながら、国家試験形式の問題を解く力を身につけていきます。また受験

対策を専門とする外部講師による集中講座や、年間を通じて模擬試験を適宜実施し、試験問題の復習を通じて学力の向上を図っています。



これまで10年間の受験指導の経験から感じることは、「合格の確率は、勉強に対する熱意と勉強量に比例する」ということです。我々教員が直接指導出来ることは限られており、いかに学生に対して国試に対する意識を持たせ、やる気を引き出すかに重点を置いています。

卒業生全員が食と栄養のスペシャリストとして社会で活躍することをめざし、新年度も学科の総力をあげて国家試験対策に取り組んでいきたいと思っています。

桜井「山の辺の道農産加工品開発プロジェクト」に参加

今年度後期の10月から、桜井市農業委員会・農林課の行政支援のもと、穴師の里友遊会、かむなびの郷、中田ミカン農園の共催による「山の辺の道農産加工品開発プロジェクト」に本学健康栄養学科の3回生9チーム34名が取り組みました。（指導教員：岩城啓子教授）

今回のテーマは「摘果みかん果汁を用いたメニュー開発」でしたので、参加学生たちは10月24日にみかん狩りなどのフィールドワーク体験にも参加し、各チームではそれぞれにアイデアを出し合い、試作を重ね作品を完成させていきました。

1月26日（火）のメニュー作りコンテスト当日、桜井市農林課や主催者側の方々、学科長によるメニューの審査が行われました。学生たちの試作品は「料理」から、「スイーツ」、「土産品」までバラエティに富み、学生の創造力は素晴らしいとお褒めの言葉をいただきました。審査の結果、グランプリには「ごろっと生まれたみかん丸」（スイーツ）、準グランプリには「穴師いなり」（ご飯物）が選ばれました。今回の参加者はすべて3回生でしたので、今まで学んだ知識や経験

が大いに生かされる良い機会になったとともに、楽しい思い出にもなったと思います。

コンテスト当日の様子は、奈良テレビでも放映され、奈良県のホームページにもアップされています。



メッセージ

健康科学部
人間環境デザイン学科
学科長

三井田 康記

平素より、本学の教育にご理解、ご支援を賜り、ありがとうございます。



2月27日、28日に奈良県文化会館で行った卒業研究・作品展には、保護者の方をはじめ多くの方がお越しいただき、ありがとうございました。展示室でスポットライトを浴びると、卒業

作品もそれを製作した学生も輝いて見えます。きっと、卒業していく学生たちも努力が報われたと誇らしく感じたことでしょう。

今年度は、例年になく、みんなのんびりしていて、卒業研究や制作へのとりかかりが遅く、期限内に出来上がるのか危惧しました。しかし、締め切りが迫ると、全員、連日、徹夜の頑張りで仕上げてくださいました。卒業研究・作品展も、学生同士で協力し、積極的に展示作業を行ってくれました。入学した時は頼りなさそうに見えた学生も、4回生になると、こんなに成長するのかと、たくましく感じました。

一方、2回生、3回生が取り組んだ、「プロジェクトゼミ」も回を重ねるにつれて、熟度を増してきています。この授業は、学年を超えて、少人数のグループを組み、教

員と議論しながら、課題を見つけ、調べ、考えをまとめて発表するゼミ形式の授業です。学生たちは熱心に、課題の調査や模型の製作、あるいは行事の実施に励み、われわれ教員の期待を超える頑張りや積極性を見せてくれました。

2月の半ばまで、毎日、徹夜も辞さずに、ゼミ室や研究室で卒業研究や卒業制作に励んでいた4回生も姿を見せなくなり、熱気にあふれていた学内も急に静かになりました。学期末試験も終わり、卒業と新学期を待つばかりとなりました。

新しい学期には、学生たちはさらにすばらしい成長を見せてくれるものと、心から楽しみにしています。われわれ教員は、全力で教育にあたる覚悟でいます。今後ともご支援を賜りますよう、お願いします。

資格取得の取り組み

人間環境デザイン学科では、コースごとに在学中に取得を推奨している資格があります。

建築・まちづくりコースでめざすもっとも大きな資格は建築士です。この資格は所定の単位を取得すると、卒業と同時に2級建築士受験資格、また2年の実務経験を経て1級建築士の受験資格が得られます。本学では4回生の卒業前に2級建築士の受験対策講座を希望者対象に開講しています。資格専門学校との提携によって、卒業後も進路先の近くで引き続き講習を受け、2級建築士学科試験に備えることができます。現在では1級建築士が3名と、2級建築士が13名と、数がだんだん増えてきました。また

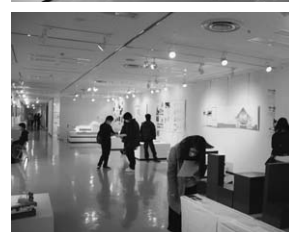
1級建築施工管理技術士も積極的に受験しており、そちらも1名合格者が出たと連絡がありました。

インテリアデザインコースではインテリアプランナー登録資格、インテリアコーディネーターなど、さまざまな資格取得を推奨しています。インテリアコーディネーターは昨年度まで4名が取得し、今年度また1名が取得しました。過去問やパースや図面を何度も繰り返し、それを教員が添削・指導をして、本人が努力を惜しまなかった結果が合格となり大変喜んでいました。また、インテリア設計士の対策講座(3回生対象)も開講し、例年多くの学生が受験しています。今年度は例年の倍の31名の学生が受験し、なんと合格率が昨年の78%から大いに飛躍して合格率100%と、全員が合格しました。前期の課題提出がいくつも重なる忙しい中で

本当にがんばったと思います。

造形デザインコースでは主に中学校家庭科教諭の免許取得に励んでいます。今年度は4名が免許状を取得しました。

目標のため、就活のため、想いは様々ですが学生は4年間の学生生活をチャレンジ精神旺盛にがんばっています。



▲卒業研究・作品展

かつらぎの道の改善提案を行いました。 ～平成27年度ランドスケープ演習～

今年度、本学で初の試みとしてランドスケープ演習を開講しました。

ランドスケープは日本では「造園」と訳されることが多いですが、公園や庭だけでなく都市計画や景観などへの提案を含んだデザインをされています。

その中で本学と隣接したショッピングセンターを含むかつらぎの道への改善提案を課題として扱いました。かつらぎの道は五位堂から本学までの通学路となっており、緑豊かな遊歩道となっていますが、道のタイルや高架の老朽化、周辺住民からの樹木の手入れに関する苦情などで問題を抱えており、広陵町役場から本学へ何か提案ができないかとの依頼がきておりました。

現地調査からの分析を踏まえ、2月4日に広陵町役場と香芝市役所の方を招き、改善提案を行いました。

学生からは

- ・住民たちが持っている古書を活用した図書室
- ・犬の散歩をする人が多いのでその方たちのためのドッグカフェ
- ・地域イベントに使える施設
- ・道とショッピングセンターのレベル差を活かした親水空間の提案

などなど、たくさんのアイデアがよせられました。

学生自身は、こんな現実感のない提案、怒られるのではないかと内心不安だったようですが、来られた職員の方からはいい提案をもらった、自分たちが学生のときよりも一生懸命課題に取り組んでいる姿勢に好感をもった、など温かく高い評価をいただきました!

来年度もランドスケープ演習は継続して開講する予定です。後輩のみなさんも、先輩の実績に負けず頑張ってもらえればと思います!!



▲発表風景



▲みんなの作品の前で記念写真!!

メッセージ

教育学部
現代教育学科
学科長

安井 義和

後援会の皆様には、現代教育学科の教育・研究活動に常日頃変わらぬ温かなご理解とご支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。



平成26年度より現代教育学科定員も50名増加しましたが、予想された課題も学生の頑張りや後援会の皆様のご理解のお蔭でクリアされていると思っています。授業の開講数も増えましたが、何よりも多士済々の学生が増えたように思われます。

大学卒業後にめざす進路は違っても、社会人としての基本的なコミュニケーション能力を身に付けるためには違った思想・人生観を持っている仲間が多ければ多いほど有効と考えます。そのためにも定員増がプラスに作用することと信じています。

本学科には多くの教育関係の資格がありますが、最近の在校生の傾向は主免許を一

つに絞り、大多数の学生は多くとも2つをめざしています。それは将来の進路目標を大半の者が決めて入学してくるからだと思っています。もちろん、大学入学後に進路変更があっても然るべきですが。

本学科の学生がめざしている将来の目的実現のために、教職員一体となってサポートする体制もできてはいますが、個々の学生の積極的・主体的な取組みが大前提ですので、後援会の皆様にはご家庭におかれましては今まで同様、お子さんたちへのご指導・ご配慮をよろしくお願い申し上げます。

「自分は一人じゃない」と強く思っ

今年度も、教員採用試験の素晴らしい結果が出ました。

教育学部7期生のうち、37名が公立小学校、1名が公立中学校英語、4名が養護教諭、25名が公立保育所・幼稚園に現役最終合格しました。合格率は小学校64.9%、中学校50.0%、養護教諭50.0%、公立保・幼89.3%でした（2月20日現在）。

特に、小学校の合格率は過去2番目の高さで、公立保育所・幼稚園の合格人数は過去最高でした。畿央大出身の教員が現場に



どんどんと出て、活躍してくださっていることは、とても嬉しく、素晴らしいことです。

これからもみんなで励まし合い、頑張りましょう。

今年の学生の声です。

保育所のころから、「大きくなったら保育所の先生になりたい。」とっていました。

大好きな友達や先輩、後輩、温かい先生方と出会った大学で、保育者になりたい思いや子どもたちへの思いが強くなりました。

筆記試験の対策、面接やピアノ、絵画、リズム運動、模擬保育などの実技練習で先生方にたくさんお世話になりました。悩み、挫け、投げ出したくなったこと



が一杯ありましたが、諦めずに頑張っただけで周りの人たちにたくさん助けてもらい、支えてもらったからです。「自分は一人じゃない」と強く思いました。

自分の将来を左右する試験に臨むのはとても不安でした。勉強方法に迷った時や勉強の計画について悩んだ時は、先生方や友達に話すことで、自分に自信が持て、引き続き勉強を頑張れました。

地域の皆さんとともに育ちたい… コミュニティスペース事業の取り組み

教育学部では、学生が地域の子どもたちと一緒に活動する事業であるコミュニティスペース事業に取り組んでいます。今回はその活動であるマミポコ親子広場とマミポコ・キッズについて紹介いたします。

マミポコ親子広場

マミポコ親子広場は、毎週火曜日10時から11時頃まで、赤ちゃんから幼稚園入園前の子どもとお母さんが一緒に集い、学生とともに遊ぶ活動です。18組の親子がエントリーをされ、毎回6組から10組の親子が来られます。3回生をリーダーに2回生が中心となって体操や手遊び、絵本の読み聞かせを毎回行いますが、月に1度の製作遊びの企画も大変好評です。

今年は1回生の参加者が増え

て、2回生は先輩としてますます張りきって活動してくれています。

マミポコ・キッズ

マミポコ・キッズでは、近隣の小学生と一緒に月1～2回、集団遊びや伝承遊びを楽しんでいます。学生が主体になり各回の活動の計画や運営を行っています。子どもの安全を第一に考えつつ、笑顔あふれる活動にするために、何度も話し合いを重ねて企画を練っています。また、活動後にも振り返りの時間をしっかり取り、次回に生かす取り組みがなされています。教育学部教員も活動をサポートしています。

子どもと実際にかかわることを通して大学で学んだことを実践する貴重な学びの場になっており、活動を通して学生は大きく成長してくれています。



授業日カレンダー

①～⑬は授業曜日ごとの授業週数を表わしています。⑭⑮週は最終授業期間は、定期試験、平常授業、補講が組まれます。

注：補講はふだんの授業曜日・時間に関わりなく6時限目や土曜日、祝日などに実施される場合があります。※印のついた日はキャンパスに入ることできません。■は休講日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日曜 事項	日曜 事項	日曜 事項	日曜 事項	日曜 事項	日曜 事項	日曜 事項	日曜 事項	日曜 事項	日曜 事項	日曜 事項	日曜 事項
1金	1日	1水⑦	1金⑫	1月⑮	1木	1土	1火⑥	1木⑨	1日 元日 ※	1水⑮	1水
2土	2月③	2木⑦	2土⑪ 保護者懇談会・総会	2火⑮	2金	2日	2水⑥	2金⑨	2月 ※	2木⑮	2木
3日	3火 憲法記念日	3金⑧	3日	3水⑮	3土	3月② 履修登録変更期	3木 文化の日	3土⑨	3火 ※	3金⑮	3金
4月 入学式	4水 みどりの日	4土⑦	4月⑫	4木⑮	4日	4火②	4金⑤	4日	4水	4土⑮	4土
5火	5木 こどもの日	5日	5火⑫	5金⑮	5月	5水②	5土⑥	5月⑩	5木⑬	5日 大学入学要綱入試	5日
6水	6金④	6月⑧	6水⑫	6土⑮	6火	6木②	6日 指定校推薦入試 社会人入試 ※	6火 補講日	6金⑬	6月⑮	6月
7木	7土④	7火⑧	7木⑫	7日	7水	7金②	7月⑥ 履修登録期間	7木⑩	7土⑬	7火⑮	7火
8金	8日	8水⑧	8金⑬	8月⑮	8木	8土③	8火⑦	8木⑩	8日	8水⑮	8水
9土	9月④	9木⑧	9土⑫	9火	9金	9日	9水⑦	9金⑩	9月 成人の日	9木	9木
10日	10火④	10金⑨	10日	10水	10土	10月③ 授業日(体育の日)	10木⑥	10土⑩	10火⑬	10金	10金 一般入試
11月	11水④	11土⑧	11月 補講日	11木	11日	11火③	11金⑥	11日	11水⑬	11土	11土
12火① 授業開始	12木④	12日	12火⑬	12金	12月	12水③	12土 公募推薦入試	12月⑪	12木 補講日	12日	12日
13水①	13金⑤	13月⑨	13水⑬	13土	13火	13木③	13日 公募推薦入試	13火⑪	13金 休講日(試験会場設置)	13月	13月
14木①	14土⑤	14火⑨	14木⑬	14日	14水	14金③	14月⑦	14木⑪	14土 大学入試センター試験 ※	14火	14火 卒業式リハーサル
15金①	15日	15水⑨	15金 補講日	15月	15木	15土④	15火⑧	15木⑪	15日 大学入試センター試験 ※	15水	15水 卒業式・卒業パーティ
16土①	16月⑤	16木⑨	16土⑬	16火	16金	16日	16水⑧	16金⑪	16月⑭	16木	16木
17日	17火⑤	17金⑩	17日	17水	17土	17日	17木④	17土⑪	17火⑭	17金	17金
18月①	18水⑤ 履修登録変更期	18土⑨	18月⑬ 授業日(海の日)	18木	18日	18火④	18金⑦	18日	18水⑭	18土	18土
19火② 履修登録変更期	19木⑤ 履修登録変更期	19日	19火⑭	19金	19月	19日	19土⑦	19月⑫	19木⑭	19日 一般入試	19日
20水② 前期学納金納入期	20金⑥	20月⑩	20水⑭	20土	20日	20月	20火⑦	20土⑫	20金⑭	20月	20月 春分の日
21木②	21土	21火⑩	21木⑭	21日	21水	21金	21月⑧	21土⑫	21土⑭	21火	21火
22金②	22日	22水⑩	22金⑭	22月	22土	22日	22月⑧	22土⑫	22日 一般入試	22水	22水
23土②	23月⑥	23木⑩	23土⑭	23火	23金	23日	23月⑧	23土⑫	23日 一般入試	23木	23木
24日	24火⑥	24金⑪	24日	24水	24土	24月① 授業開始	24月⑧	24土⑫	24火 補講日	24金	24金
25月②	25水⑥	25土⑩	25月⑭	25木	25日	25月① AO入試・大学院入試 ※	25月⑧	25土⑫	25日 一般入試	25土	25土
26火③	26木⑥	26日	26火⑮	26金	26月①	26月⑤	26土⑧	26月⑬	26木⑮	26日	26日
27水③	27金⑦	27月⑪	27水⑮	27土	27火①	27月⑤	27土⑧	27月⑬	27金⑮	27月	27月
28木③	28土⑥	28火⑪	28木⑮	28日	28水①	28月④	28月⑧	28水⑬	28土⑮	28火	28火
29金③ 授業日(昭和の日)	29日	29水⑪	29金⑮	29月	29木①	29土⑤	29火⑩	29木	29日 ※	29月	29月
30土③	30月⑦	30木⑪	30土⑮	30火	30金①	30日	30水⑩	30金	30月⑮	30月	30月
	31火⑦		31日	31水		31月⑤		31土	31火⑮		31金

大学の最新情報は、公式SNSで！

本学では教育・研究・社会貢献における情報公開を積極的に進めており、在学生の学びや卒業生の活躍、キャンパスの様子などをホームページとあわせて、大学公式SNSで随時発信しています。LINE以外はアカウントをお持ちでなくともご覧になれます。

本学の「今」を知るツールとして、ぜひご活用ください。



畿央生の活躍やキャンパスの様子を美しい写真とともに紹介。畿央大学の「今」を発信します。



各学科紹介のほかに、「1分でわかる畿央大学」シリーズの動画を好評配信中です。



トピックスやイベント、ブログの更新情報などを、1日1件以上のペースでツイートしています。



受験生向けに情報発信。→ともだち検索で「畿央大学」と入力！

冬木学園へのご支援のお願い

学校法人冬木学園は創立以来「徳をのばす、知をみがく、美をつくる」という建学の精神のもとに、たゆまぬ教育活動を行ってきました。現在は、大学院、大学、高校、幼稚園を有し、昨今の厳しい教育環境のなかでも、社会的評価は年々高まっています。このように冬木学園が発展してこれましたのも保護者の方や卒業生をはじめ、学園を支えてくださるみなさまのおかげと厚く御礼申し上げます。

今年度は、創立70周年を迎えますが、これからも社会のニーズに応え、学園の評価を更に高めるためには、教育・研究活動の充実や学生・生徒への奨学金制度の充実など、より多くの資金が必要になってまいります。つきましては、冬木学園の建学の精神に賛同しご協力頂ける皆様方に寄付金を募集させて頂きたくご案内申し上げます。

◎ 寄付のお申込方法

法人事務局総務部（担当：植村・竹本）にお問い合わせ下さい。

TEL：0745-54-1602 E-mail：soumu@kio.ac.jp

◎ 税額控除の適用について

本学園は、寄付税額控除制度の適用を受けることのできる学校法人として文部科学大臣より証明されています。個人の方が支出した寄付金について、確定申告時に税額控除制度の適用を受けることができます。詳しくは、お問い合わせください。